

## 「元南極観測船 SHIRASE 小名浜港で復旧・復興を7日間支援」の「津波減災に関する談議会」に今村教授が参加(2011/7/9)

7月7日(木)～13(水)の1週間、東日本大震災の被災者を元気づけ、復興への機運を盛り上げようと、福島県いわき市の小名浜港に停泊中の旧南極観測船「しらせ」(現SHIRASE, 全長134メートル, 排水量1万1600トン)の一般公開が行われました。7日に入港し、1週間の公開の間、船内見学, 談話会等の各種の催し会が行われました。当センターの今村文彦教授は、9日(土)に行われた「津波減災に関する談議会」にてパネラーとして参加しました。このディスカッションには、災害を少しでも減らすための減災活動のあり方や、今後起こりうる津波への対策に関して、小名浜港やいわきサンマリーナでの津波襲来時のVTRや写真などを使いながらの意見交換が行われました。

参考 URL <http://weathernews.com/ja/nc/press/2011/110624.html>



パネルディスカッションの様子(写真右:今村教授)

写真出展: <http://star.ap.teacup.com/hayami/468.html>